

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（店長） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（経営者） 乗用車販売店（役員） タクシー運転手 通信会社（営業部長） 通信会社（企画） 設計事務所（所長）	・客の購入シーンにゆとりが感じられる。 ・消費税増税の再延期も決まり、少しは景気が良くなる。 ・バーゲンの出足も良く、ボーナスの時期も重なるので、梅雨が明けたら良い感じになっていくのではないかと期待する。 ・衝突回避システム搭載車への買換え需要が今後も増えると思われる。搭載車と非搭載車の事故率データの開示や保険割引の適用が開始されると、買換え需要が活発になっていく。 ・梅雨が明け、ボーナスも支給されているため、夏休みで遊ぶ気持ちと自由になるお金ができたという気持ちで、人の動きはあると判断する。 ・夏商戦の時期で、新機種在庫も潤沢になる。 ・例年ワールドカップやオリンピックの開催前に加入が増えるので、良くなる。 ・不動産への投資が若干増えてきたように思う。また、東京から地方都市への投資が増えている。
	変わらない	商店街（事務局長） 商店街（代表者） 一般小売店〔文具店〕（経営者） スーパー（店長） スーパー（企画担当） コンビニ（総務） コンビニ（商品担当） 家電量販店（店員） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（営業担当） その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） 観光型旅館（経営者） 都市型ホテル（経営者） 旅行代理店（営業部長） 通信会社（営業担当） 通信会社（支店長） 観光遊園地（職員） ゴルフ場（従業員） 競艇場（職員）	・急激に円高が進み、不安定となった為替の動きが今後の経済全体に与える影響は大きい。今後、一段と円高が進むと消費がさらに冷え込むリスクになると感じており、為替介入等で回避されることを望む。 ・有効求人倍率は過去最高というが、地元の大手企業に人材を取られてしまい、商店街内では飲食店を中心に人手不足の傾向が続いている。時給を上げててもなかなか人が来ない状況が続いており、専門店やアパレルを中心に厳しさが続く。 ・売上が改善されるような要素が見当たらない。 ・今夏は猛暑が見込め、夏物に続いて、秋物、冬物が売れていけば、現状を維持できるのではないかと思う。 ・安価な商品を求めて買いまわり先を増やしている客が多く、既存の店の来客数が伸びる要素はあまりない。 ・天候や気温次第であるが、猛暑になれば大きく売上が増加する。 ・企画を打ち続けても横ばい状態が続いており、回復する兆しは見えない。 ・ボーナス商戦も盛り上がり欠け、良くなる気配も感じられない。 ・ボーナス時期ではあるが、客の動きに変化はない。 ・選挙ムードとなり、購買意欲をそそるニュースは少なくなる。夏のボーナス商戦も盛り上がり欠けている。 ・消費税増税が再延期になったことから、増税に伴う駆け込み需要は見込めず、市場は更に低迷する予想。 ・必要な物しか購入しない姿勢が強く、現状維持が続く。 ・熊本地震の影響は少なからずあるだろうが、全国との競争のなかで四国はなかなか厳しい。しばらく今の状態が続く。 ・予約状況を見ると、宿泊については、若干良くなっている。県外宿泊客は若干伸びるものの、県内の動きが非常に悪く、宴会、レストランといったところは、ちょっと落ち込む。 ・英国のEU離脱問題で、円高による海外旅行の一般個人企画旅行には期待するが、法人関係に影響が懸念され、景気全体への影響が非常に心配。 ・市場が活性化する期間が短くなってきている。 ・海外の動向が国内に与える影響は未知数であるが、現時点では大きな動きは無さそう。 ・観光客が増えてきているが、今後の経済状況など外部的要因により不安がある。 ・予約状況の推移を見ると、現状とあまり変わらない。 ・7月のイベントや8月のお盆を除き、大きなレースは開催されず売上増加は期待薄だが、人気選手のおっせん、地元選手の活躍等が売上増加の鍵を握っている。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・英国のEU離脱問題があり、円高株安など経済が不安定な状況になり、顧客の動向及び消費に影響すると思われる。消費税増税の再延期による将来への不安も感じられる。

	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・週に一度の夜市は、晴れると商店街にもたくさんの人出があるが、その他の日は歩行者が少なくなっている。繁華街に来る人が減ってきているのを実感している。
	百貨店(営業担当)	・株価が低迷している影響があり、今後やや悪くなる。
	百貨店(販売促進担当)	・日本経済の失速感に加え、英国のEU離脱問題など不安材料・先行き不透明感が増している。
	スーパー(財務担当)	・猛暑の期待があるも、株安等で客の節約志向はさらに強くなる。
	衣料品専門店(総務担当)	・英国のEU離脱問題による株価の大幅な下落があり、直接的な影響を受けなくとも購買意欲はさらに低下するのではないかと感じている。顧客との会話のなかでもマイナスの話題が多くプラスになる要素があまりない。
	乗用車販売店(従業員)	・燃費性能が良くなっているのも、ガソリンの値下げよりも、円高、株安などで消費者心理を冷やすことの方が自動車販売への影響が大きい。
	住関連専門店(経営者)	・英国のEU離脱問題によって、株安・円高に振れているので、今後は買い控えが起こるような感じがする。
	一般レストラン(経営者)	・節約志向が定着しているなか、世界的な不確定要素の高まりのなかで、現状維持を保ってその様子を見ているような状況である。異常気象による野菜の高騰で、商品が流れていない。
	タクシー運転手	・夏の間は、お遍路の仕事もほとんどなく、街も厳しいと聞いている。お遍路が始まるのは9月末から10月にかけてなので、それまでは悪くなる。
	美容室(経営者)	・夏が終わると来客数が減る。
悪くなる	商店街(代表者)	・東京一極集中が、アイデンティティーによる地方再生か、この方向性も英国のEU離脱問題と共通する大きな課題をはらんできた。あらゆる状況が経済環境にとって不安定な時代に入っていき可能性が出てきた。
	一般小売店〔酒〕(販売担当)	・英国のEU離脱問題に伴い、これからの日本経済への影響が心配。もっと不景気になるのか。消費者の節約志向は継続する。
	コンビニ(店長)	・大手のボーナス支給は終わっているが、一向に購買力の向上の気配はなく、消費意欲が感じられない状況にある。余分な買物は無くなったのかも知れない。
	衣料品専門店(経営者)	・英国のEU離脱問題に伴い景気不安定になる。
	美容室(経営者)	・英国のEU離脱問題に伴う景気の悪化がアベノミクスの恩恵をまだ受けてはいない地方に大きな影響を与える可能性がある。
企業動向関連 (四国)	良くなる	-
	やや良くなる	-
	農林水産業(総務担当)	・梅雨が明け、夏野菜の売出し等が活発になり、好転することを期待する。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・キッチンペーパー等の製造設備が完成したら、売上、利益とも増加していく。
	電気機械器具製造業(経営者)	・「パンプ・バイオマス発電」のいろいろな案件が決まりつつあり、これで、地方の景気を押し上げることができると思っている。
	繊維工業(経営者)	・今後の景気は不透明である。
	木材木製品製造業	・足元は比較的堅調と判断しているものの、先行予測は非常に難しい。
	電気機械器具製造業(経理)	・得意先からの受注量や発注予測の量に、依然として大きな変化が感じられない。また、市場のトピックや新製品動向等の変動要因も乏しい。
	建設業(経理担当)	・民間工事の受注がやや増加しているが、受注残については減少しており、競争も厳しく、変わらない。
	建設業(経営者)	・公共工事次第だが、あまり期待できない。
	建設業(経営者)	・今年度は、公共事業予算規模が前年度横ばいであるが、上半期に重点発注したため、悪くならないと見込んでいる。同業者においても、悪くなるイメージの話は出ていない。
	輸送業(営業)	・夏から秋にかけては行楽シーズンであり、例年であれば季節商材を中心とした一般消費財の消費拡大が期待できるが、昨年まで2年続きで天候不順(多雨)に見舞われた事を加味すると天候次第である。
	通信業(総務担当)	・変動する要素が見当たらない。
	金融業(副支店長)	・取引先企業の資金需要は設備資金・運転資金とも鈍く、景気の先行きに不透明感を感じてか投資に慎重な姿勢が見受けられる。現状は好転・悪化とも材料に乏しく当面はこの状態で推移する。

		広告代理店（経営者）	・地方は消費低迷が続いている上に英国のEU離脱問題が決定的になり、得意先の販促に対するマインドが低くなっている。従って多くの得意先の販促費削減傾向は続くため、あまり変わらない見込みである。	
やや悪くなる		食料品製造業（経営者）	・英国のEU離脱問題の影響で株価の下落、円高が予想される。	
		鉄鋼業（総務部長）	・少ない受注案件に入札が集中し、受注価格も下落傾向にある。	
		輸送業（経営者）	・報道が景気不安定をあおっていると感じる。	
		通信業（営業担当）	・テレビ広告の出稿において業種に片寄りがあり、全体的に伸びてこない。	
		不動産業（経営者）	・今回の英国のEU離脱問題に伴う不景気が予想され、不動産業にとって、かなり大きな影響がある。	
		公認会計士	・熊本地震や円高を非常に気にされている経営者が増えている。設備投資には非常に消極的で、資金繰り等を心配する方も増えてきており、景気はやや悪い方向に向かっているのではないかと心配している。	
悪くなる		一般機械器具製造業（経理担当）	・英国のEU離脱問題の影響がどうなるのか見極めが必要であるが、予測困難な局面になっている。	
		輸送業（支店長）	・英国のEU離脱問題による影響が大きくなる。円高による輸出の減少や株安による企業マインドの冷え込み、収入減少による消費の減退で、ますます物量が減る。	
雇用 関連  (四国)	良くなる やや良くなる	-	-	
		人材派遣会社（営業）	・英国のEU離脱問題や参議院選挙結果が日本の景気にどのように影響するかは経過観察が必要であるが、夏季賞与や夏休みなどを考えてみると、現状の景気の良さを体感できるようなイメージである。就業条件も非正規雇用から正規雇用への登用や、募集も増えてくる。	
		求人情報誌製作会社（従業員）	・例年通り10月の異動時期に向けて求人が活発になってくると予想される。	
		職業安定所（職員）	・賃金等の上昇はまだ見られないが、常用雇用での採用意欲が聞かれるようになった。	
		職業安定所	・5月の有効求人倍率は1.28倍で、4月と同じ数字となった。	
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・人材不足は当面続く一方、直接雇用に向けた企業の動きは引き続きおう盛なものと思われる。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現状、良くなる要素はない。かと言って下がる具体的要因も今はない。	
		民間職業紹介機関（所長）	・新卒を順当に採用出来ている企業の割合が多いように思われるが、高校生の採用が出来ないという企業が製造系を中心に多い。今後の少子化を見据えた場合に人員を充足出来るかどうかの不安感を持っている。	
	やや悪くなる		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用活動は活発であるが、景気の変動とはあまり関係がなく、計画的な人員充足の一環と思われる。
			人材派遣会社（営業担当）	・経済は不安定なので、生産の変動が気になる。派遣に登録するスタッフの数も少なくなっており、需給バランスが崩れていく可能性が気になる。
悪くなる		求人情報誌（営業）	・県内製造業へのヒアリングでは、円高により海外への輸出が見込めなくなることで、全体的な景気低迷で大手の設備投資等が控えられることが予想されるため、部品加工や機械製造の業種で特に景気が悪化する見通し。	
		-	-	